

博物館  
**明治村**®





### 設立経緯

博物館明治村は、明治建築を保存展示する野外博物館として、昭和40年3月18日に開村しました。

初代館長谷口吉郎は、昭和15年に鹿鳴館が取り壊された際、当時の新聞に「明治の愛惜」と題する文を寄せ、明治建築の保存と活用を訴えました。

明治建築は戦災や震災により多くが失われ、ことに戦後の高度経済成長による大小の再開発の波は、追い打ちをかけるように多くの建造物を取り壊しへと導きました。

谷口の訴えに応え、取り壊される運命にあった建造物を救い、これらを保存展示する博物館の構想を支えたのが、谷口とともに旧制第四高等学校（現金沢大学）で学んだ土川元夫（後に名古屋鉄道社長、会長を歴任）でした。

この二人が共に語り合った夢、そして当時の多くの人々から寄せられた協力によって博物館明治村は設立されました。

### 設立趣意書より

明治時代の各種の歴史資料を収集管理して博物館を設置し、広く一般に公開するとともに、明治の新しい精神に立脚した社会教育の振興により、現代及び将来の国民大衆に歴史の指針を与え、その一般教養の充実を図ることに、文化の向上に寄与することを目的とする。

# 明治の空気を今に伝える数々の建造物

博物館明治村には、取り壊される運命にあった、日本国内をはじめ一部海外に建てられた60数余の建造物が移築保存されています。  
重要文化財10棟を含む、全国でも屈指の数を誇る文化財の数々をご覧ください。



せいよハネきょうかいどう  
**聖ヨハネ教会堂【重要文化財】**  
旧所在地:京都市  
建設年:明治40(1907)年

1丁目6番地

さいごつどうみちやう  
**西郷従道邸【重要文化財】**  
旧所在地:東京都  
建設年:明治10(1877)年代

1丁目8番地

もりおろがい なつめあきしほのうたく  
**森鷗外・夏目漱石住宅**  
旧所在地:東京都  
建設年:明治20(1887)年頃

1丁目9番地

ろくろでんわこうかんきょく  
**札幌電話交換局【重要文化財】**  
旧所在地:北海道  
建設年:明治31(1898)年

2丁目21番地

きょうとしでん  
**京都市電**  
製造年:明治43(1910)年~明治44(1911)年

3丁目24番地

きたきたけんきゅうじよほんかん いがくかん  
**北里研究所本館・医学館**  
旧所在地:東京都  
建設年:大正4(1915)年

3丁目25番地

しほがわまたまもんてい  
**芝川又右衛門邸**  
旧所在地:兵庫県  
建設年:明治44(1911)年

3丁目68番地

しながわどうだい  
**品川燈台【重要文化財】**  
旧所在地:東京都  
建設年:明治3(1870)年

3丁目29番地

にほんせきじょうじしやこうかうひょういんひょうどう  
**日本赤十字社中央病院 病棟**  
旧所在地:東京都  
建設年:明治23(1890)年

4丁目35番地

じようき きかんしや ごと  
**蒸気機関車 12号**  
輸入年:明治7(1874)年

4丁目43番地

うじやまたゆうびんきょくしや  
**宇治山田郵便局舎【重要文化財】**  
旧所在地:三重県  
建設年:明治42(1909)年

4丁目46番地

くれはざ  
**呉服座【重要文化財】**  
旧所在地:大阪府  
建設年:明治25(1892)年

4丁目49番地

## 文化財を後世に残すために

明治村では皆様からのご寄附を募集しております。昭和40年の開村以降、歴史的建造物は60棟を超え、うち10棟は重要文化財に指定されるなど、明治村の博物館としての価値は更に高まりつつあると言えます。一方で、村内建造物の多くは築後100年を超えてきており、その保存修理費用は年々増加する傾向にあります。このような状況のもと、今後も博物館事業を確実かつ持続的に達成して行くため、平成17年文部科学省より「特定公益増進法人」の認定、平成24年愛知県より「公益財団法人」の認定を受け、共感者からのご厚志を募っております。なにとぞ、ご支援賜りますよう心からお願い申し上げます。  
※寄附金の送金方法など詳細は、お電話またはメールでお問い合わせください。

### ●近年、皆さまからの寄附金を原資の一部として復原・修復された建造物

学習院長官舎(修理)【平成23年12月竣工】

西園寺公望別邸「坐漁荘」(修理)【平成26年2月竣工】

## 明治村 浪漫募金

1口500円で気軽に募金できます。  
ご協力いただいた方には記念品を差し上げます。



詳しくはHPをご覧ください。